

株式会社アルベログランデによるサステナビリティローン

2024 年度レポートティング結果

株式会社アルベログランデ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：鈴木 盛生）は、2020 年 12 月 25 日に調達いたしましたサステナビリティローンについて、2023 年度のレポートティングを行いました。

■ 資金充当状況

本ローンによる調達資金	充当済金額
90,000 百万円	東京ポートシティ竹芝：90,000 百万円

■ 東京ポートシティ竹芝

東京ポートシティ竹芝は、「デジタル×コンテンツ」を軸に、世界中の人、情報、ビジネスをつなぎ、職住近接による新たなライフスタイル創造をめざす大規模複合施設プロジェクトです。都有地を活用した国際ビジネス拠点づくりや、産官学連携でのエリアマネジメントを行っております。

・東京ポートシティ竹芝の環境への取り組み

DBJ Green Building 認証 5 つ星 (five stars)

日本政策投資銀行が、環境・社会への配慮が優れた不動産を認証する「DBJ Green Building 認証」において、国内トップクラスの卓越した「環境・社会への配慮」がなされたビルとして認証されました。



・インパクトレポートинг(2025 年 3 月 31 日時点)

エネルギー使用量 (GJ) (実績値) 2024 年 4 月～2025 年 3 月 224,288GJ (※)

CO2 削減量 (t-CO2) (想定値) 10,253t-CO2

延床面積当たりの CO2 削減量 (kg-CO2/m²) (想定値) 56.3kg-CO2/m²

水使用量 (m³) (実績値) 2024 年 4 月～2023 年 3 月 72,384 m³ (※)

(※) 持分換算後の値。

・森林保全/自然保護に対する取組状況

本施設の中のスキップテラスは、緑に囲まれた憩いの空間として整備しています。「空・蜂・水田・香・菜園・水・島・雨」の 8 つの景から成る「竹芝新八景」を展開し、緑豊かな環境づくりを行うとともに、都市における生物多様性の取り組みを発信します。また、働く人々が抱えるさまざまな問題を、緑の力を活用して解決する「Green Work Style」の一環として、働く人へのリラックス効果や生産性向上をサポートします。

・スマートシティ・スマートビルの取組概要について

スマートビルならびにスマートシティはテナントであるソフトバンク株式会社との共創事業として取り組んでおります。スマートビルは館内に約1,400個のカメラやセンサーを設置し、店舗の混雑状況の可視化、サイネージを活用したリアルタイムクーポンなど新しい取り組みを実施しております。スマートシティは2020年7月にスマート東京に採択されており、都市OSを活用したスマートシティの実装を引き続き推進しております。

・デジタル、コンテンツ領域のビジネス支援、各種イベント開催状況

2024年5月には旧芝離宮恩賜庭園を活用した夜間のライトアップイベント「旧芝離宮夜会」、2024年8月には竹芝ふ頭を活用した「竹芝夏ふえす2024」を開催致しました。また、2024年10月には一般社団法人CiP協議会のイベント「ちょっと先のおもしろい未来」を4年連続で実施しました。

・帰宅困難者の受入スペースの概要

地域の防災拠点として、ガレリア、オフィスロビー等の低層部共用空間を一時滞在施設として整備しております。また、東京都所有の展示施設、民間所有のホールを一時滞在施設として開放し、帰宅困難者の受入れを行います。

・防災用品の備蓄倉庫の概要（防災物資対応人数）

本物件には防災用品の備蓄倉庫を設けており、東京都所有区画の受入人数も含めた6,350人の3日分の備蓄品の保管、従業員用として100人の3日分の備蓄品を保管、コーポレーティブシステムおよび非常用発電機による非常時の電源供給などにより減災対策を行っております。

・バリアフリーな歩行者ネットワークの概要

本プロジェクトにより整備されたポートデッキは、浜松町駅から竹芝駅・竹芝ふ頭までをシームレスにつなぐ約500mのデッキです。バリアフリー化が実施されており、回遊性の向上や都有地の機能更新に貢献しております。

・外国人幼児対応可能な子育て支援施設の概要

レジデンスタワーの1階に保育施設を設置しております。

・オールジェンダー対応トイレの設置状況

オフィススタワー2階に設置しており、多様な文化、宗教を信仰する方々にも利用しやすい施設を目指しております。

・祈祷室の設置状況

東京ポートシティ竹芝オフィススタワー2階に2箇所設置しており、多様な文化、宗教を信仰する方々にも利用しやすい施設を目指しております。

以上